

# 令和元年度 木祖村ふるさと納税報告書

## ご寄附をいただいた皆様へ

このたびは全国各地の皆様から長野県木祖村へふるさと納税のご寄附を賜りまして誠にありがとうございました。村民を代表し、深く感謝申し上げます。

令和元年度は527名の皆様から11,493,500円のご寄附をいただき、平成20年度の制度開始以来、総額で55,390,008円となりました。お寄せいただきました貴重な寄附金は、木曾川源流の里木祖村の進める源流の里づくりに活用させていただきました。

今回、全国の皆様の御厚意によるふるさと納税寄附金がどのように使われているかご説明させていただきます。多くのご意見をお寄せいただき、皆様とともにおらづくりを進めていく所存でございますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

令和2年6月

木祖村長 唐澤 一寛

## 令和元年度 寄附の状況

◆合計金額 11,493,500円

◆寄付件数

個人 527件

◆使途別内訳

使 途	件数	金額（円）
① 森林整備・水源涵養・自然環境・景観の保全	187	3,866,000
② 高齢者福祉、医療・健康推進の充実	63	1,236,500
③ 美しく豊かな自然環境と魅力的な景観づくり	48	891,500
④ ふるさとの伝統と文化を守る	98	2,169,000
⑤ 産業振興	35	918,500
⑥ 村づくり全般	96	2,412,000
計	527	11,493,500

## 寄附の使途

下記の事業の一部に皆様からのご寄附を充当させていただきました。

### ◆森林整備・水源涵養・自然環境・景観の保全

#### 【公有林整備事業事業】

現在木曽郡の森林整備においては、木曽川の上下流交流をきっかけとし、上下流域住民が一体となり水源地域の森林を整備し、健全な水環境社会の構築に向けた取り組みを行なうため、木曽広域連合（木祖村を含む木曽郡 6 か町村で構成）と愛知中部水道企業団（愛知県中部の 2 市 3 町で構成）の間で、平成 15 年に木曽川「水源の森」森林整備協定を締結し、これを機に上流も下流も住民が使用する水道水 1 立方メートルにつき 1 円を積み立てた基金（下流域の「水道水源環境保全基金」と上流域の「木曽森林保全基金」）を活用して、平成 17 年度から木曽地域の森林整備（間伐、路網整備、鳥獣被害対策等）を進めています。

令和元年度 村有林（鳥居峠塩沢団地）搬出間伐事業

○事業費 9,570,000円

○事業内容

村有林 鳥居峠塩沢団地 搬出、切捨て間伐 9.8ha

カラマツ他約 425m<sup>3</sup>を搬出



施業前



施業後



施業中



### 【危険木除去事業】

令和元年度 危険木除去工事

○事業費 2,926,000円

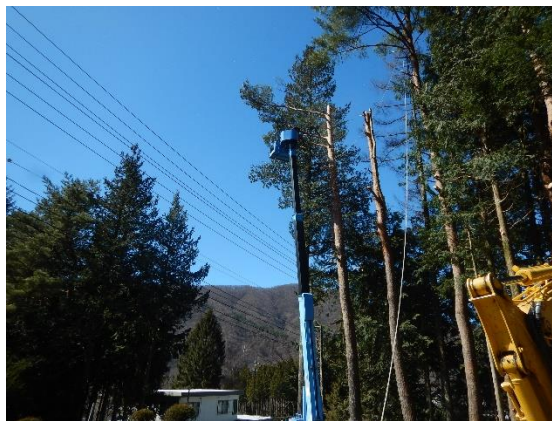
○事業内容

災害時倒木によりライフライン（道路、電線等）に影響を及ぼす箇所の伐採

村内2箇所の民有林においてカラマツ、アカマツ等130本伐採



作業前



作業中



作業後

### ◆ふるさとの伝統と文化を守る

#### 【お六櫛の材料確保に向けて取り組み】

伝統工芸品である「お六櫛」の保存伝承活動や材料確保に向けた調査研究事業。また、村指定文化財の標柱修繕事業などにふるさと納税寄附金を活用させていただきました。

「お六櫛」は木祖村荻原地区に約300年前から伝わる木櫛で、長野県の伝統工芸品として愛され続けています。



## ◆産業振興・村づくり全般

### 【プレミアム商品券事業補助金】

「木曽川源流の里」水の源として、水源地域に相応しい地域であるために、山村地域の魅力を損なわ村内における新規消費の拡大を図り、地域経済の活性化を促進するために、木祖村商工会が主体となり「源気くんドリーム商品券」事業を実施しました。

発行額（発行規模）	発行単価/枚 枚数/冊 単価	プレミアム 負担	発行日 有効期限	取 扱 事業所数
30,000 千円 プレミアム分：6,000 千円 総事業費：37,662 千円 発行冊数 3,000 冊	500 円/枚 24 枚/冊 10,000 円	村 5,912 千円	7 月 1 日 7 月 1 日～ 12 月 31 日 (6 ヶ月間)	57 店舗 (55 事業所)

### 【こだまの森施設整備事業】（テニスコート照明設備設置工事）

木祖村のグリーンシーズンのリゾート地である「やぶはら高原こだまの森」のテニスコートに夜間照明を整備しました。引き続き、来場者の増加や地域の皆様の健康増進を目指し、施設の活用を進めて参ります。

#### ○事業費

テニスコート照明設備設置工事設計監理委託	1,782,000 円
〃 照明設備設置工事	13,200,000 円



## ◆美しく豊かな自然環境と魅力的な景観づくり

### 【景観形成事業】

「木曽川源流の里」水の源として、水源地域に相應しい地域であるために、山村地域の魅力を損なわない、また多くの観光客の誘致を含め、森林整備等をはじめとした多くの景観形成事業を推進しています。

☆大原地区斜面環境整備事業

○事業費 1,618,000 円

○事業内容

木祖村大字小木曽 大原地区の村有地（雑種地）1.0ha の皆伐・地拵え工を実施。

☆しらかば平別荘地立木伐採事業

○事業費 1,516,900 円

○事業内容

しらかば平別荘地は、昭和40年代に別荘地として造成し、約80軒の別荘建物が建立されている。近年では、シラカバの木が減少してしまいましたが、カラマツやアカマツ、ヒノキなどの針葉樹が大きくなり、木曽駒ヶ岳等の山々が望めず当時の景観を損ねてきております。

そこで、危険木を中心とした支障木を伐採し、別荘地としての景観整備を実施しました。

## ◆高齢者福祉、医療・健康増進の充実

### 【定期予防接種及び村独自の任意予防接種補助事業】

予防接種は、感染症の発症予防または重篤化予防のために重要な役割を締めています。お子さんのすこやかな成長と村民の健康を願って、村では国で定められた定期接種への補助に加えて、任意予防接種の補助を実施しています。特に子育て支援策の一環である小児任意予防接種補助事業は、保護者の皆様からも喜びの声が寄せられている事業のひとつです。

○令和元年度 予防接種補助事業

事業費 4,506,473 円